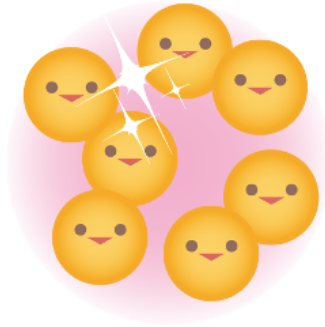


知っておきたい卵子の話 (AMH)

女性の妊娠にとって重要なのは、卵子の質と量です



妊娠にするためには、**質の良い卵子**が必要です。卵子は体より早く老化します。年齢が若い程卵子の質が良いということは、最近よく知られてきました。身体の中に卵子の数がどれだけ残っているかは**卵子の量**になります。

身体の中にある卵子の数は決まっていて、増えることはありません

女性が胎児としてお母さんのお腹の中にいる時から一生分の卵子のもとがつくられます。生まれた時には200万個もっていると言われていますが、その後卵子の数が増えることはありません。個人差がありますが、思春期の頃には約10万~30万個くらいに減ってきます。



卵子の数は限られていて、数も人により様々です

ご自身の卵巣に残された卵子の数（卵巣予備能）を知るために
AMHの検査を受けてみませんか？



体外受精の妊娠率・生産率・流産率

